

コンファウロシステム 使用上の注意

■挿入・抜去時の注意

清潔操作で留置して下さい。

尿路感染症を防止するため、施行前の十分な手洗い、下尿道口付近の十分な消毒、滅菌器具を用いた清潔操作で挿入して下さい。

使用前にバルーン検査を行って下さい。

ファンネルに表示してある量の滅菌精製水をバルーン内に注入し、漏れ、片膨れ、また収縮するか確認して下さい。(シリコーン製品は自己密着性があり、バルーン内面とチューブの密着により、膨張不能や片膨れ等が生じることがあります。)

挿入時、バルーン部に傷をつけないように。

ピンセット等で傷が付くと、ピンホールやバルーンが破裂する可能性があります。

バルーンを膨張又は収縮させる際は、ゆっくり慎重に行ってください。

シリンジノズルを斜めに挿入、無理な押し込み、テーパの合わないものは、バルブの損傷につながり、抜去困難になることがあります。

尿の排出を確認した後、バルーンを膨らませて下さい。

尿の排泄がない場合、尿道膜様部と前立腺部で拡張している場合があります。

挿入後は、テープで固定して下さい。

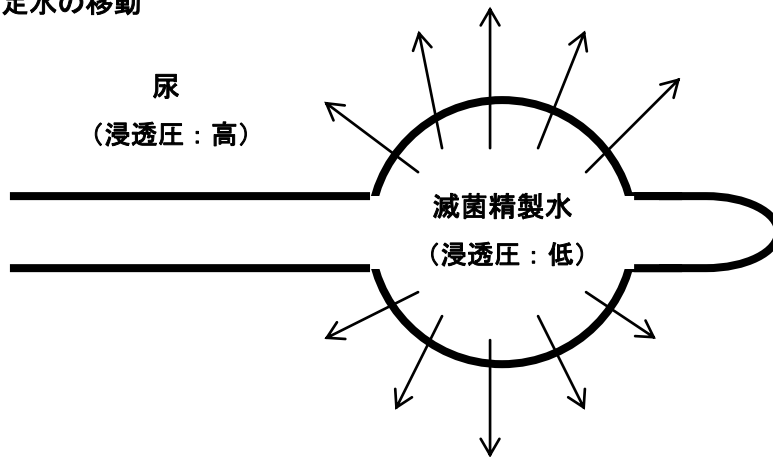
自然抜去や自己抜去を防ぐ為、女性：大腿部、男性：下腹部へ、カテーテルに少し余裕をもたせ固定して下さい。固定の位置が悪いと、尿道の血行障害から尿道損傷、尿道皮膚瘻などの合併症を引き起こします。

■ 留置中の注意

固定水は、1週間に1度を目安に交換して下さい。

バルーン内の水は、浸透圧と拡張したバルーンの圧の関係で少しずつ減少します。1週間に1度を目安にバルーン内の水をすべて抜き、再度規定容量の滅菌精製水を注入して下さい。

バルーン内固定水の移動



尿中に結石、砂等のある患者には、留置状態を定期的を確認して下さい。

バルーン破裂やカテーテル閉鎖の危険性があります。そのような患者には慎重に使用して下さい。

尿バッグは、床置きしないで下さい。

尿バッグは、床置きやベッドなどに傾けないように吊り下げ、かつ身体よりも低い位置になるように取り付けて下さい。(バッグが折れ曲がった状態になると流路を閉鎖させ、尿漏れする恐れがあります。また、床につくと感染の恐れがあります。) 使用中は、カテーテルやチューブが屈曲したり潰れたりしていない事を確認して下さい。